

第 23 回北東アジア港湾局長会議

(11 月 2 日 (木) 韓国・釜山広域市、Busan Port International Exhibition & Convention Center)

出席者

- 日本 (国土交通省大臣官房技術参事官 西村 拓をはじめ 8 名)
- 中国 (交通運輸部水運局副局長 楊 華雄をはじめ 8 名)
- 韓国 (海洋水産部港湾局長 南 載憲をはじめ 15 名)

主要議事

(ア) 「港湾再開発と都市再生」をテーマとした情報交換

発表者：中国) 交通運輸部水運局副局長 楊 華雄 (ヤン・ファ シュン)

「Report on the development of Chiina's ports」

日本) 国土交通省大臣官房技術参事官 西村 拓

「Port Redevelopment and Urban Regeneration in JAPAN」

韓国) 海洋水産部港湾局長 南 載憲 (ナム・ジェホン)

「Busan North Port Redevelopment Project」

(イ) 共同研究の報告

作業部会で取り組んでいる以下の 3 つのテーマについて、作業部会を代表して、韓国海洋水産部港湾局港湾政策課 張琦旭 (チャン・ギウク) 課長が進捗状況や今後の取り組みについて報告を行いました。

・北東アジアにおけるスマートポートの情報化に向けた協力方針に関する研究

(中国提案)

・北東アジアにおけるウィズコロナ、アフターコロナのクルーズ振興に関する連携

(日本提案)

・北東アジアにおけるカーボンニュートラルの港湾政策に関する比較研究 (韓国提案)

また、三ヶ国の研究所が共同で行っている以下の研究について進捗報告がなされました。

・中国、日本、韓国の共通研究指数を用いた韓国港の環境影響評価 (日・中・韓)

・船舶からの NOx 排出量の更なる削減 (中・韓)

(ウ) 第 24 回北東アジア港湾局長会議

次回開催国である中国より、第 24 回北東アジア港湾局長会議が 2024 年に中国河北省唐山市で開催されることが提案され三ヶ国の間で合意されました。